

地盤液状化実験ボトル“ エッキー 2008 ”

Liquefaction Bottle, Licky 2008

納口 恭明 [1]; 和泉 薫 [2]

Yasuaki Nohguchi[1]; Kaoru Izumi[2]

[1] 防災科研; [2] 新潟大・災害復興センター

[1] NIED; [2] Natural Hazards Center, Niigata Univ.

納口は、水と砂で完全に満たされた密閉容器の中で、液状化現象を何度も繰り返し再現できる地盤液状化実験ボトル「エッキー」を考案し、教育・普及用に使っている。エッキーでは完全に水で満たされたボトルの中で丸ピンが液状化で浮上するため、現象はすべて水中で起こる。2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震で海底の土砂に埋没していた古木が海底面に浮上し、漁網に引っかった。この海底古木は液状化で海底面に浮上したのと考えられ、エッキーと同じ現象と思われる。エッキーで用いる丸ピンの代わりに、実際に浮上した海底古木を用いたエッキーによってこの現象を再現する。なお、この地震の液状化で噴出した噴砂を用いたリアルエッキーも紹介する。